新 刊 Book Reviews

□西山ゆら（画, 文), 森 和男（お話）: **花譜 I** B5. 103 pp. 2016. 私家版. ISBN no number.

画家西山ゆらが描いた50種の植物画の大半を1ページ毎に載せ，対面ページに画家自らが書いた植物にまつわる随想などを記す．その同じページにこれとは別に園芸家，森 和男が，描かれたそれぞれの植物の特徴，類似種との区別点，生育地，栽培のコツ，その他エピソードなどについての記述が載る．

これまで本誌で紹介されてきた植物画集やそれに相当する著作は，エーレット以降にヨーロッパで確立した，日本でボタニカルアートと呼ばれる作品を扱ったものだった．本書は大別すれば日本画家に属する西山ゆらが描いてきた植物画作品からなる．作品はいずれも淡彩タッチで描かれている．構図は実際に生えている状態での植物を写生したつくりになっているが，花やキク科の頭花などは肉眼視で観察できる範囲で描かれ，色調や色彩の違いが的確に表されている．ユキモチソウと共に描かれているハルノタムラソウやヤマルリソウは臨場感に溢れる．カラフトハナシノブ，ホロテンナンショウ，信州戸隠産と思われるミヤマスミレは出色であり，細部の描き方などはこれらの植物に詳しい森が協力しているものと思われた．また，各画に添えられた森の一文は読み応えのある珠玉の一篇といってよい．

植物学に寄与するか，植物の科学的紹介に貢献することを目的にした植物画，というと日本では，先に述べたエーレットの流れを汲む西洋風の作品が大半を占める．本書はそれらの作品とは明らかに異質ではあるが，視覚を通しての植物の科学的紹介に十分貢献するものであると，紹介者は信じる．古来から植物を種々の方法で描いてきた，長い伝統ある日本である．植物画自体がもっと多様であっていいのではないだろうか．植物画に関心を抱く方々にぜひ手にとって頂きたく紹介させていただいた．問合せ先は 614-8315 京都府八幡市橋本北ノ町 70 西山ゆら氏まで．

（大場秀章 H. OHBA）

第92巻3号 正誤 (2017) Errata in Vol. 92 No. 3 (2017)

ページ (Page)	カラム (Column)	行 (Line)	誤 (For)	正 (Read)
138	right	↑8	M0154201	M0154200
138	right	↑4	M0154200	M0154201
147	Fig. 248	cap. ↓1	M0154201	M0154200